

弧釣山

M・T

期 日：2018年11月26日（日）

コース：御殿場バス7：40→旭ヶ丘ジャンボタクシー→山伏峠バス停トンネル手前8：40～50→山伏峠8：56→大棚ノ頭→山伏峠分岐9：17→水ノ木分岐9：22→石保土山9：52～10：00→西沢ノ頭10：28→縦ノ木沢ノ頭10：51→油沢ノ頭11：20→ブナノ丸11：50→弧釣山12：14～50→弧釣山避難小屋13：05～13：10→ブナ沢乗越13：15→落合橋14：18→道の駅どうし14：40～15：20→森の駅旭ヶ丘16：00～16：15→御殿場駅

参加者：LY・N S・S Y・Y T・I M・S M・S T・H M・T

報 告：

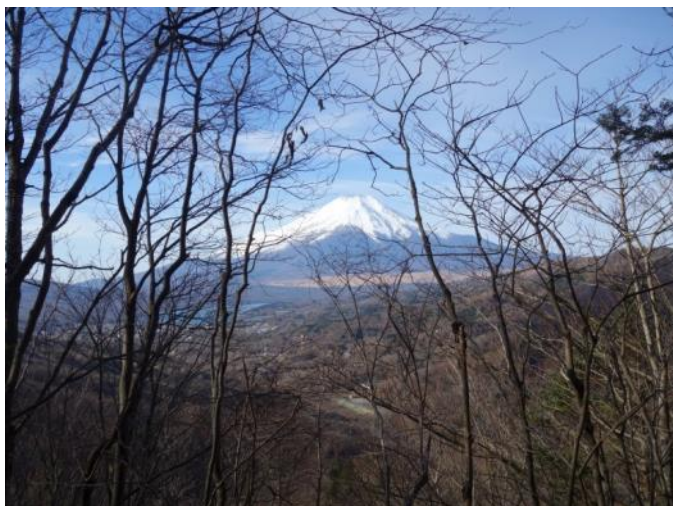


旭ヶ丘から予約しておいたジャンボタクシーで山伏峠バス停に行く。(タクシー代約4000円) 徒歩でトンネルを抜けると右手の石垣に御正体・石割山・弧釣山と書かれた山伏登山道入口の案内有り。



登山口には登山道の標識は無かったが水源の森(?)と書かれた標識があった。(写真を撮り損ねた。)

落ち葉を踏みしめて山伏峠を目指す。僅か6分ほどで石割山・御正体山との分岐の山伏峠着。



富士山が近い。





山伏峠分岐（高指山と孤釣山の分岐）

静かな尾根道を進み石保土山到着。



水ノ木分岐通過

左に御正体山



この後も気持ち良い尾根道が続く。



西沢の頭





西沢ノ頭からは短いが厳しい下りを経て
登り返し縦ノ木沢の頭着。



更に短いアップダウンを繰り返す



油沢ノ頭と3つの頭を踏んだ。



油沢の頭からも下って又登り返す。



やっとブナノ丸。気分転換に歌詞もおぼろげになっ
た懐かしの歌を唄いながら登るのは楽しかったが、
息苦しも有った。



目の前に大きな富士山・遠くに愛鷹連山が見えだすとやっと弧釣山山頂。



お疲れ様でした。弧釣山山頂です。ザックを下ろして昼食タイム。
ゆっくり休んだ後、下山開始だが全員での記念写真を撮り忘れ避難小屋前でも撮る。



避難小屋前にて
下山はブナ沢乗越から道の駅どうしを目指す。





小さな渡渉を数回繰り返すが水量に問題なし。

涸れ沢となったブナ沢を進む。
歩き難い道を注意深く。



落合橋を過ぎ道志の森キャンプ場を過ぎると道の
駅どうしは近い。



ツーリングのバイクに気をつけながら道の駅に着いた。



東海自然歩道の一部でもある甲相国境尾根の静かな
山域を楽しんだ一日であった。

終日姿を見せてくれた富士山

